

ひだかしんきん 地区内経済概況



***** 目 次 *****

業種別総括	29年1月
概 況	1
漁業・水産加工業	2
農業・軽種馬生産業	3
建設業	3
木材・製材業	4
卸・小売業・観光	4
倒産・雇用状況	5
そ の 他	5
地区別・業種別概況	6~8
指 標	9~10
トピック	11
インフォメーション	12

《業種別総括》

概況

29年1月

〔漁業〕

- ・ 1月の総水揚げは、漁獲量は前年を上回り、漁獲金額は前年を下回った。漁獲量は、タコ、カニ、昆布が減少、タラ・スケソ、カレイ、ツブが増加した。漁獲金額はタラ・スケソが大幅に増加、カレイ、タコ、昆布が減少した。

〔農業・軽種馬生産業〕

- ・ 夏イチゴが国内の一大産地になっているひだか東農協のイチゴ生産は、昨年2月から今年1月末の年間生産で215トン、3億3,500万円ほどになる見通し。生産量、金額とも過去最高となる。
- ・ 108年続く馬産地浦河の新春恒例行事「騎馬参拝」が2日、西舎神社で行われた。明治43年以来続く伝統行事。馬事関係者が馬産振興と無病息災を祈願した。

〔建設業〕

- ・ 町発注工事（新ひだか～広尾地区）の月中発注額は61百万円で前年を25百万円上回った。
- ・ 日高管内における国・道・町発注公共工事の月中請負金額（北海道建設業信用保証㈱の保証請負金額）は431百万円で前年を324百万円上回った。
- ・ 月中建築確認申請件数（新ひだか～広尾地区）は、1件で前年を1件下回った。

〔卸・小売業・飲食業〕

- ・ ひだか東農協が運営する様似町緑町の「Aコープさまに店」が28日閉店した。長年赤字が続き、店舗の存廃は懸案事項となっていた。閉店後、店舗部分はイチゴ選果施設として整備し、秋から稼働する計画となっている。
- ・ 新ひだか町で生産される産品を推奨品として認証し、全国に発信する新ひだか推奨品認証委員会による「2017新ひだか推奨品」の認証審査が25日開かれ、3事業者から日高昆布を使った羊羹やみついし牛を使ったハンバーグなど8商品の申請があった。結果は3月に決定する。

〔観光・その他〕

- ・ 本道屈指の初日の出観光スポット・襟裳岬は元旦、展望台付近や岬突端は1,300人以上で埋め尽くされた。駐車場は札幌や帯広ナンバーの車が詰めかけ、駐車場は観光バス1台と357台のマイカーで満車状態になった。初日の出は雲に覆われたままで拝めず、参拝観光客を落胆させた。

〔雇用〕

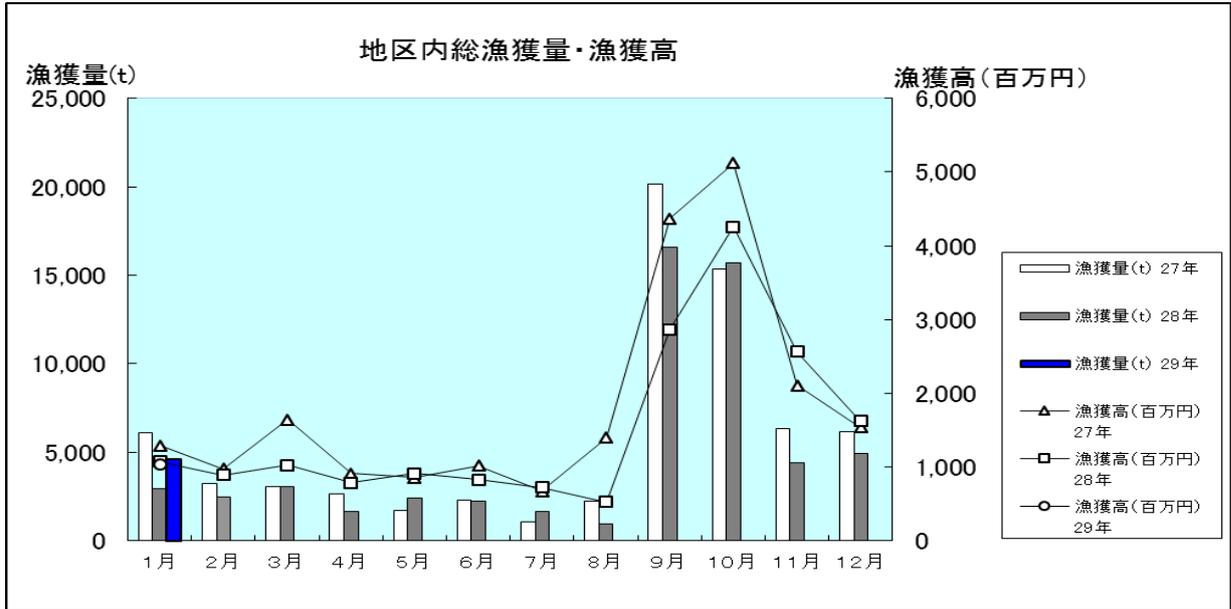
- ・ 浦河地区と全道の月間有効求人倍率は前年に比べ、浦河地区、全道ともに前年を上回った。

〔総括〕

- ・ 漁業は、前年比で漁獲量は増加、漁獲額は減少した。漁獲量はカレイ、ツブ、タラ・スケソが増加。タコ、カニ、昆布が減少した。タラ・スケソは好調で前年比545t、69百万円と大幅に増加している。建設業の月中請負金額（北海道建設業信用保証㈱の保証金額）は前年を上回った。スーパー、コンビニの売上は、前年並みかやや増加。コンビニは自社ブランドの低価格商品が好調。一般小売店は、正月の動きもやや鈍く前年並みの売上。家電販売は点検・修理が主体で商品販売は低調。衣料販売は冬物衣料の動き鈍く売上は減少している。自動車関連では修理関係は前年並み、車輛販売は低調であった。地区内景況は建設業の工事減少、一次産業も閑散期となり、個人消費者の購買力は鈍く、地区内景況は、引き続き鈍い動きとなっている。

漁業・水産加工業

〔沿岸漁業〕 カレイ、タコ、ツブ、毛ガニ漁等。〔沖合い漁業〕 底曳き、タラ・スケソ漁等。
 総漁獲量 4,627 t ・ 金額1,032百万円 (前年同月比1,664 t 増 ・ 40百万円減)



カレイ漁	133 t	・ 50 百万円	(同	36 t 増	・ 25 百万円減)
タコ漁	113 t	・ 55 百万円	(同	58 t 減	・ 27 百万円減)
ツブ漁	99 t	・ 72 百万円	(同	20 t 増	・ 4 百万円増)
ホッキ漁	11 t	・ 6 百万円	(同	5 t 減	・ 4 百万円減)
ナマコ漁	1 t	・ 3 百万円	(同	1 t 増	・ 3 百万円増)
底曳き網漁	934 t	・ 114 百万円	(同	76 t 増	・ 26 百万円減)
カニ漁	62 t	・ 186 百万円	(同	32 t 減	・ 9 百万円減)
ウニ漁	5 t	・ 7 百万円	(同	1 t 減	・ 2 百万円減)
タラ・スケソ漁	1,920 t	・ 269 百万円	(同	545 t 増	・ 69 百万円増)
昆布	198 t	・ 241 百万円	(同	46 t 減	・ 45 百万円減)
その他	1,151 t	・ 29 百万円	(同	1,128 t 増	・ 22 百万円増)

- 1月の総水揚げは、漁獲量は前年を1,664t上回り、漁獲金額は前年を40百万円下回った。漁獲量は、カレイ、ツブ、タラ・スケソが前年を上回り、タコ、カニ、昆布が前年を下回った。漁獲金額は、タラ・スケソが前年を上回り、カレイ、タコ、カニ、昆布が前年を下回った。タラ・スケソは好調で前年比545 t ・ 69百万円と大幅な増加となった。日高東部海域(冬島地区を除くえりも漁協)の毛ガニはハシリから低調な水揚げで推移している。ロシア産の搬入減などで全体的に品薄の中、浜値は例年落ち着く年明けも堅調だが、漁獲不振に加え餌代も高騰し、厳しい操業を余儀なくされている。道水産林務部が発表した昨年(平成28年)の北海道漁業生産状況によると、漁獲数量は前年比14%減の86万5,000トンと、昭和33年以降で初めて100万トン割れとなった。ホタテ、秋サケ、コンブなど主要魚種の不振が影響した。漁獲金額は魚価高に支えられ、同6%減の2,944億円と、3年ぶりに3千億円割れとなった。

(対象は新ひたか、浦河、様似、えりも、広尾の各地区) (「t」はトンを表しています)

農業・軽種馬生産業

〔軽種馬生産業〕

- ・日本中央競馬会は「2016年度JRA賞受賞馬選考委員会」を開き、記者投票で年度代表馬と最優秀4歳以上牡馬に日高町門別・ヤナガワ牧場生産のキタサンブラック(牡馬5歳)を選出した。このほか、日高管内牧場生産馬の受賞馬は、最優秀ダートホースにチャンピオンズカップ優勝のサウンドトゥルー(新ひだか町静内・岡田スタッド)、同障害馬に中山グランドジャンプと中山大障害優勝のオジュウチョウサン(平取町・坂東牧場)が選出された。

〔畜産業〕

- ・新冠町和牛生産改良組合が2016年に出荷した黒毛和牛の販売額が8億円を突破。肥育農家に販売される素牛と、肉用に育てた肥育牛の合計額で、前年から1億8千万円以上伸びた。
- ・黒毛和牛は、三石地区で出荷頭数89頭(前年77頭)金額8,828万円(同6,390万円)。価格は、子牛が85万円(前年73万円)、肥育牛は138万円(同128万円)。えりも地区は10ヶ月素牛が出荷頭数45頭(前年31頭)金額は3,538万円(同2,145万円)。価格は牡が82万円(同71万円)牝は74万円(同64万円)。国内産牛の出荷頭数の減少により高値での取引が続いている。

〔花き栽培〕

- ・1月の花き出荷実績は、36千本、金額3,241千円(前年39千本、3,971千円)。

建設業

〔公共工事〕

- ・町発注工事(新ひだか～広尾地区)は、件数4件、金額61百万円(前年6件、36百万円)工事発注状況をみると、前年同月比で件数は2件下回り、金額は25百万円上回った。
- ・日高管内の国・道・町発注公共工事の月中請負金額は、431百万円(北海道建設業信用保証株の保証請負金額)。前年同月比324百万円、302.8%増加した。

〔土木・建設業〕

- ・日高建設協会の通常総会が1月30日開かれた、池田会長は「人材不足、担い手確保の問題に継続的に取り組んでおり、今年はホームページを立ち上げ、建設業の紹介や若年層への建設業参入の広報活動にも取り組みたい」とあいさつ。29年度の事業計画として、技術研修会の開催、後継人材確保と育成活動、労働災害防止、社会貢献・福祉活動などを決めた。
- ・浦河労基署は、2016年の管内労災発生状況速報値をまとめた。建設業は土木で8人、建築で3人、木造建築で2人、その他で1人の計14人が被災。前年速報値を3人下回ったが、11月に建築で1人が死亡し、14年から2年続いた建設業の死亡災ゼロはストップした。前年は、統計が残る1956年以降で初となる全産業死亡災ゼロだった。

〔建築確認申請〕

- ・1月中受付建築確認申請件数(新ひだか～広尾地区)は1件で前年を1件下回った。

木材・製材業

〔木 材〕

- ・ チップ材の出荷状況(広尾地区) は、数量が750 t (前年855 t) で前年比12.2%の減少。出荷金額は12,977千円 (同13,759千円) で同比5.6%の減少となった。

〔製 材〕

- ・ 建材、プレカット材等は町内外の公共工事や、建築業者からの受注があり、やや増加している。

卸・小売業・観光

〔卸売業〕

- ・ 野菜・果物は本州産が主体となっている。野菜関係は、1月に入り平年並みに安定している。高値が続いていたトマト、キュウリは2割ほど安値となっている。果物類も先月は天候の影響で高値となっていたが、全体的に前年並みの価格となっている。

〔小売業・飲食業〕

- ・ えりも町の水産加工会社「株マルデン」が、日高沖で取れたブランド秋サケ「銀聖」を使った生食フィレーを開発した。オリーブオイルの風味が効いた生食用の切り身で、洋食にも活用できるのが特徴。16日には札幌市内のホテルで商品説明会と試食会を行った。

〔観光・その他〕

- ・ 日高振興局は平成28年度上半期(4~9月)の日高管内の観光客入込客数をまとめた。入込総数は前年同期比2万1千人減の119万8,600人(前年比1.7%減)。半期の入込内訳は、道外客が前年比2万6,500人増の23万900人(前年比13%増)、道内客は同4万7,500人減の96万7,700人(4.7%減)。うち日帰りは1万9,200人減の107万8,700人(1.7%減)、宿泊客は1,800人減の11万9,900人(1.5%減)。各町の入込数は、新冠町25万4,800人(0.4%減)、新ひだか町23万8,300人(16.8%減)、浦河町10万2,400人(23.8%増)、様似町8万3,300人(4.8%増)、えりも町13万2,500人(5.7%増)となった。
- ・ 日高振興局は、2月24、25日に埼玉県さいたま市で開催する国内最大級の自転車イベント「埼玉サイクルエキスポ2017」にブース出展し、日高地域のサイクリングツアーの取り組みをアピールする。日高地域の魅力を国内外に発信する新手法として、「サイクリング」に着目。一昨年11月に日本語、英語、中国語の管内サイクリングマップ「北海道ひだかサイクリングフィールド」を作成し、台湾など国内外のプロモーション活動で配布し、観光客誘致を図っている。ブース展示では、サイクリングマップや台湾サイクリスト招へい事業の取り組みや、サイクリングで巡った日高の様子を撮影した動画などを紹介する。
- ・ 浦河の魅力発信し、観光客を呼び込もうと、浦河小学校6年生24人が、町内の名所や飲食店23ヵ所を紹介する手作りの「浦河おすすめマップ」を完成させた。約9ヵ月間かけた力作で、浦河観光協会のホームページに掲載される。観光客に訪れて欲しい浦河自慢の観光地を紹介、児童が独自に考えた観光6コースも掲載されている。

倒産・雇用状況

〔管内の倒産〕

- ・ 当金庫管内（新冠町～えりも町）の倒産は、0件（前年同月0件）。
当金庫管内を含む苫小牧管内の倒産は、0件（前年同月0件）。

〔道内の倒産〕

- ・ 北海道の倒産件数は17件(前年同月19件)、負債総額は6億7千万円(同34億8千万円)、倒産件数は前月比3件減少、前年比で2件減少となった。
(東京商工リサーチ)

〔全国の倒産〕

- ・ 全国の倒産件数は605件(前年同月675件)、負債総額は1,284億8千万円(同1,269億2千万円)。倒産件数は前月比105件、前年比で70件の減少となった。

〔雇 用〕

- ・ 1月の浦河地区の月間有効求人倍率は1.64倍で前年比0.49ポイント増加、前月比で0.05ポイント減少した。有効求人数は1,127人で前年比254人、前月比70人の増加となった。有効求職者数は687人で前年比74人減少、前月比63人の増加となった。全道の月間有効求人倍率は1.06倍で前年比0.07ポイント増加、前月比0.03ポイント減少した。

その他

管内生産馬、中央競馬重賞レース勝馬

- | | | | |
|------|---------------------------------|-------------------|------|
| 1/8 | 第33回 フェアリーステークス
ライジングリーズン 号 | (日高町 三城牧場 殿生産) | (GⅢ) |
| 1/8 | 第51回 日刊スポーツ賞シンザン記念
キョウヘイ 号 | (新ひだか町 本桐牧場 殿生産) | (GⅢ) |
| 1/15 | 第57回 京成杯
コマノインパルス 号 | (むかわ町 新井牧場 殿生産) | (GⅢ) |
| 1/29 | 第31回 根岸ステークス
カフジテイク 号 | (浦河町 ヒダカファーム 殿生産) | (GⅢ) |
| 1/29 | 第22回 シルクロードステークス
ダンスディレクター 号 | (新ひだか町 藤原牧場 殿生産) | (GⅢ) |

住民基本台帳人口調べ (平成28年12月末現在)

町名	計	男	女	世帯数
日高町	12,412	6,209	6,203	6,309
平取町	5,267	2,561	2,706	2,581
新冠町	5,696	2,770	2,926	2,744
新ひだか町	23,425	11,345	12,080	11,836
浦河町	12,805	6,262	6,543	6,767
様似町	4,535	2,158	2,377	2,238
えりも町	4,932	2,470	2,462	2,167
計	69,072	33,775	35,297	34,642

日高管内7町の住民基本台帳による昨年12月末現在の総人口は6万9,072人で、前年同期の7万126人から1,054人減少し、7万人台割れになっている。この1年間の各町人口減少数は、新ひだか町341人を最高に、浦河町230人、えりも町・日高町が各147人、様似町108人、平取町44人、新冠町37人。減少率ではえりも町2.9%、様似町2.4%が高い。

(注) 調査区域：浦河地区、新ひだか町静内地区及び三石地区、新冠地区、様似地区、えりも地区、広尾地区

《指 標》

1 営業区域の人口・世帯数動向 (平成29年1月現在) (単位：人)

町 村 別	人 口			世 帯		
	人 数	前年同月比	前月比	世帯数	前年同月比	前月比
平 取 町	5,258	-47	-9	2,575	15	-6
日 高 町	12,407	-145	-5	6,311	-17	2
新 冠 町	5,671	-49	-25	2,742	14	-2
新ひだか町	23,388	-363	-37	11,820	-79	-16
浦 河 町	12,802	-231	-3	6,759	-50	-8
様 似 町	4,531	-99	-4	2,239	-10	1
え り も 町	4,933	-133	1	2,169	0	2
日高地区合計	68,990	-1,067	-82	34,615	-127	-27
広 尾 町	7,165	-145	-13	3,448	-34	-7
大 樹 町	5,718	-41	-17	2,670	24	-6
日高・十勝地区合計	81,873	-1,253	-112	40,733	-137	-40
札 幌 市	1,958,157	5,278	-615	933,145	10,489	-303
江 別 市	119,198	-236	16	56,086	529	25
石 狩 市	58,930	-260	-260	27,361	181	181
北 広 島 市	59,101	-190	-32	27,107	216	12
恵 庭 市	69,229	181	2	32,319	504	15
千 歳 市	96,378	456	-6	47,896	646	2
石狩地区合計	2,360,993	5,229	-895	1,123,914	12,565	-68
苫 小 牧 市	173,103	-691	-32	87,318	500	-16
厚 真 町	4,673	-26	-1	2,143	21	0
む か わ 町	8,549	-178	-15	4,311	-69	-7
胆振地区合計	186,325	-895	-48	93,772	452	-23
営業区域合計	2,629,191	3,081	-1,055	1,258,419	12,880	-131

注：日高町の人口数に外国人登録者数は含まれていません。

(資料出所：各市町村)

2 労働需給状況(平成29年1月)

(単位：人、%)

	浦河職安	全 道	前年同月		前 月	
月間有効求人数	1,127	81,628	873	79,213	1,057	81,572
月間有効求職者数	687	77,312	761	80,103	624	74,640
月間有効求人倍率	1.64	1.06	1.15	0.99	1.69	1.09

(資料出所：浦河公共職業安定所)

3 建築確認申請(平成29年1月)

(単位：件)

		件 数	前年同月比	前 月 比
当 金 庫 管 内	当 月 の 申 請	1	-1	-2
(新ひだか町～広尾町)	28/4～29/1 累計	91	0	

(資料出所：各市町村)

4 企業倒産状況(平成29年1月)

(単位：件、千万円)

	件数	金額	前同比(件数)	前同比(金額)	業 種	地 区
苫小牧管内	0	0	0	0		
うち新冠町～えりも町	0	0	0	0		
北海道	17	67	-2	-281		
全 国	605	12,848	-70	155		

(資料出所：東京商工リサーチ)

5 浦河町・新ひだか町 金融機関預金・貸出金残高(平成29年1月)

(単位：百万円、%)

預 金			貸 出 金		
残 高	前年同月比	前 月 比	残 高	前年同月比	前 月 比
128,852	2.77	-2.40	51,792	4.10	-2.20

(資料出所：浦河・静内金融協会)

6 浦河町・新ひだか町 手形交換高

(単位：枚、百万円、%)

	29年1月	前年同月比	前 月 比
交換枚数	324	20.90	52.83
交換金額	356	42.40	-0.84
不渡り手形枚数	0	—	—
不渡り手形金額	0	—	—

(資料出所：浦河・静内金融協会)

7 気象情報(札幌管区気象台発表)

1月中の気象状況

(単位：℃、mm、h)

	本 年			平年偏差・平年比			平年偏差、平年比は、1981～2010年の資料から算出された平年値を使用。気温は当月の平均気温から平年値を差し引いたもの(平年比)。降水量、日照時間は当月の降水量・日照時間の平均を平年値で割り返したものの(平年偏差)。
	気 温	降水量	日照時間	気 温	降水量	日照時間	
浦 河	-2.6	28.5	145.7	-0.1	77.24	104.44	
広 尾	-5.1	47.0	162.4	-0.6	61.36	101.50	

(資料出所：国土交通省・気象庁)

8 各町の水道使用量(平成29年1月)

(単位：t、%)

	一般家庭用	前年比	事業用	前年比	合 計	前年比
新ひだか町静内	100,388	0.3	42,873	-9.6	143,261	-2.9
新ひだか町三石	28,912	-0.6	16,833	-0.8	45,745	-0.6
浦 河 町	63,944	-1.1	27,496	-1.0	91,440	-1.1
様 似 町	22,927	-0.6	11,432	8.5	34,359	2.3
え り も 町	26,305	2.1	10,029	4.2	36,334	2.7
広 尾 町	32,761	0.0	14,995	-2.3	47,756	-0.7

* 広尾町は28年12月分

(資料出所：各町)

トピック

日高振興局からのお知らせ

日高振興局では、地域の特色や優位性を皆様に広くアピールさせていただくため、農業、林業、水産業、商工業など幅広い分野で、日高のすばらしさを紹介しています。今回は、管内における食関連産業振興の取り組みについて、紹介いたします。

<魅力的な商品企画（ふるさと納税返礼品等）説明会>

説明会は、日高振興局主催で平成29年1月13日（様似町）・17日（新ひだか町）・20日（日高町）の3ヶ所で、合計42名の方に参加いただき、「(株)ひとと」の藤谷代表取締役を講師にお招きし、「ふるさと納税返礼品」をきっかけとした販売促進につなげる方法を提案していただきました。また、今回の説明会参加者で、希望のあった3社に、販売促進に関する情報発信について専門のアドバイザーを派遣して、助言を行っていただきました。なお、来年度も食関連産業の振興を目的とした説明会の開催・アドバイザー派遣を予定しています。

◆講演概要

講演の概要としては、販売促進の取組みとして、まず、事業者側で積極的にふるさと納税返礼品の告知をする。方法は自社のホームページに告知はもとより、町のふるさと納税返礼品サイトにリンクするページを作る、フェイスブック等のSNS活用、名刺サイズのビラを作成し配付等、自社の商品につながるチャンネルをどんどん増やす。

次に返礼品送付先の納税者を一度きりの顧客とせずリピーターになってもらうために、返礼品に自社商品パンフレットを添付するとともに誘客につながるアイテムも同封する。再度購入促進のための割引券、誘客のために、例えば地元で使えるお礼券（金券）・アイス券等の商品贈呈券等。商品のみでなく地元に来てもらう事によって顧客とのつながりが強くなる。

また、ふるさと納税返礼品も1度きりの送付ではなく、複数回や季節毎の送付などに取組むことによって、購入者の目に触れる機会を増やす。隣町等と連携し、複数町で合同返礼品のセットを作る。選定されなかった企業も宣伝効果があり、町のPRにもなる。さらに、宿泊所の割引券等を同封することで、誘客を促すなどの提案をいただきました。

最後に「(株)ひとと」さんで取組んでいる、地方特産品ギフト通信販売や定期購入者限定で体験を付けた「定期購入体験サイト」等について説明いただきました。



※様似町会場の様子。



※新ひだか町会場の様子。

◆問い合わせ先

日高振興局産業振興部商工労働観光課

電話：0146-22-9281

インフォメーション

※ 「東日本大震災」の義援金の取扱が延長されました！

- ◎ 取扱期間 : 平成29年3月31日(金)まで
- ◎ 寄付先 : 日本赤十字社を通じて被災者の方々に配分されます。
- ◎ 手数料 : 無料
- ◎ 受取書 : 受取書の必要な方は後日、日本赤十字社から直接ご依頼人に送付されます。

※ ひだかしんきん「住宅ローン」キャンペーン中！

●取扱期間 平成28年4月1日(金)～平成29年3月31日(金)

住宅ローン受付金利のご案内(基準金利は平成28年4月1日現在)

固定金利特約期間	基準金利	優遇金利	当金庫とお取引のある建設業者のご利用または不動産業者からのご紹介の場合、左記の優遇金利より ▲年0.10%
特約期間 3年	年3.10%	年0.80%	
特約期間 5年	年3.60%	年1.10%	
特約期間 7年	年4.10%	年1.30%	
特約期間 10年	年4.40%	年1.50%	

- ※ 上記お取引金利には、団体信用生命保険(一般・3大疾病保障付)の保険料が含まれています。
- ※ 固定金利特約期間終了後も基準金利より年▲1.30%、ただし変動金利を選択された場合は適用されません。
- ◎ 優遇金利の適用条件や商品内容については、お近くの当金庫窓口へお気軽にご相談ください。

※ ひだかしんきん「無担保住宅ローン」キャンペーン中！

●取扱期間 平成28年4月1日(金)～平成29年3月31日(金)

無担保住宅ローン受付金利のご案内(基準金利は平成28年4月1日現在)

商品名	基準金利(変動金利)	引下げ金利	優遇金利(保証料込)
無担保住宅ローン(団体信用生命保険付)	3.68%	▲1.55%	2.13%
無担保住宅ローン(団体信用生命保険無)	3.28%	▲1.55%	1.73%

- ※ 保証会社(一般社団法人しんきん保証基金)へお支払する保証料は上記のお取引金利に含まれています。
- ※ 団体信用生命保険付のお取引金利には、保険料が含まれています。
- ◎ 優遇金利の適用条件や商品内容については、お近くの当金庫窓口へお気軽にご相談ください。

※ ひだかしんきん「リフォームローン」キャンペーン中！

●取扱期間 平成28年4月1日(金)～平成29年3月31日(金)

変動金利型 基準金利3.80%(基準金利は平成28年4月1日現在)→優遇金利2.00%

優遇条件に該当で基準金利より年1.80%優遇

- ※ 別途、保証会社(一般社団法人しんきん保証基金)へお支払する保証料が必要となります。
- ◎ 優遇金利の適用条件や商品内容については、お近くの当金庫窓口へお気軽にご相談ください。

※ ひだかしんきんフリーローン「アクア」新登場！

●取扱開始 平成29年2月1日(水)

お使いみち	自由(但し、事業性資金を除く)
ご融資金額	10万円以上800万円以内 ※専業主婦の方は50万円以内
ご融資期間	6ヵ月以上10年以内(1ヵ月単位)
ご融資利率	年3.5%、年5.5%、年7.5%、年9.5%、年11.5%、年13.5%のいずれか
連帯保証人	原則不要です ※オリックス・クレジットの保証が受けられる方

- ※ 詳しくは、窓口または担当の営業係りにおたずねください。
- ※ 審査の結果、ご希望に添えないこともございます。予めご了承ください。
- ※ パソコン・スマートフォンからも24時間受け付けております。

※ 詳しくは、当金庫窓口にお尋ねください。



ひだかしんきん営業のご案内

ATM	本店	〒057-0013 浦河郡浦河町大通2丁目31の2	☎ (0146) 22-4111
ATM	堺町支店	〒057-0034 浦河郡浦河町堺町西1丁目83の59	☎ (0146) 22-5611
ATM	静内支店	〒056-0016 日高郡新ひだか町静内本町1丁目1の15	☎ (0146) 42-1531
ATM	三石支店	〒059-3108 日高郡新ひだか町三石本町197の23	☎ (0146) 33-2311
ATM	様似支店	〒058-0014 様似郡様似町大通2丁目35の2	☎ (0146) 36-2341
ATM	えりも支店	〒058-0204 幌泉郡えりも町字本町170の1	☎ (01466) 2-2311
ATM	広尾支店	〒089-2615 広尾郡広尾町本通8丁目7の1	☎ (01558) 2-3161
	札幌支店	〒060-0004 札幌市中央区北4条西5丁目1-4 三井生命札幌共同ビル4階	☎ (011) 200-7070

ATM 営業時間 平日 8:45~18:00

※札幌支店を除く各店舗に「ハンドセット搭載機」のATMが設置されております。

土曜日 ATM 稼働店：本店・堺町支店・静内支店・三石支店・様似支店・えりも支店・広尾支店

土曜日 ATM 営業時間 9:00~17:00

日曜・祝日 ATM 稼働店：本店・静内支店

日曜・祝日 ATM 営業時間 9:00~17:00

店外 ATM

浦河町役場内 ATM 浦河郡浦河町築地 浦河役場内1階ロビー

店外 ATM 営業時間 平日 9:00~16:00

浦河赤十字病院内 ATM 浦河郡浦河町東町 浦河赤十字病院内1階ロビー

店外 ATM 営業時間 平日 9:00~18:00

パセオ堺町店内 ATM 浦河郡浦河町堺町 店内フロア

店外 ATM 営業時間 平日・土曜・日曜・祝日 9:00~19:00

マックスバリュ静内店内 ATM 日高郡新ひだか町静内木場町 店内フロア

店外 ATM 営業時間 平日・土曜・日曜・祝日 9:00~19:00

※店外 ATM は、全て「ハンドセット搭載機」です。



業務部地域貢献課

〒057-0013 浦河郡浦河町大通2丁目31の2

電話 (0146) 22-4100 FAX (0146) 22-6106

URL <http://www.shinkin.co.jp/hidaka/>